



SGE 五木東

平成29年9月13日(水) 学校便り



相手の目を見てしっかり話しましょう！

42日間あった夏休みもあっという間に終わりましたが、子供たちは心に残る多くの体験をしたことだと思います。そして、77日という一年間で最も長い二学期がスタートしました。まずは、研究発表会1102の成功に向けて全力で取り組みます。児童と保護者、そして教職員とが力を合わせ、五木東小学校の素晴らしさを世界に発信できる絶好の機会と考えています。

さて、二学期最初となる第4回目のGC講座を9月8日(金)に行いました。今回講師を勤めていただいたのは、株式会社ローソン熊本支店の支店長塚本聡さんとスーパーバイザー栗林孝次さんです。「伝えようとする、会話することの大切さ」という演題で話していただきました。Ponta(ポンタ)がかけつけるというサプライズもあり、子供たちは大興奮でした。

LAWSONという名前は、アメリカで牛乳販売店を営んでいたJ.LAWSON氏に由来している。だからローソンの看板には、ミルク缶のマークが入っている。簡単に言うと、コンビニは「便利なお店」という意味。毎日多くの人に触れ合う

「マチのほっとステーション」を目指している。国内外に14,703店舗あるローソンには、1日あたり合計すると約1,100万人が来店。お客様との「会話」を常に大切にしている。その「会話」を通じて、ローソンを好きになってもらいたい。現在、約6,000人の外国人留学生在がローソンでバイトをしている。留学生のためのマニュアルは、各出身国の言葉で説明されていて、コミュニケーションがとりやすいように工夫してある。

五木東小のみなさんは、今学んでいる英語を使って、いろんな人とコミュニケーションをとってほしい。その際、勇気を出して相手の目を見て話すことで、相手との心の距離がグッと近くなる。

海外のローソンは、1,330店舗あります



お店は日本だけでなく海外にもあります。中国・タイ・インドネシア・フィリピン・ハワイ。様々な方々と日々「会話」をしながら、仕事をしています。